

6部

ご案内



1

【再掲】新型コロナウイルスの5類移行に伴う対応について

本冊子1部にて、ご確認をお願いいたします。

また、通信教育部ホームページも随時ご確認をお願いします。

2

【再掲】郵便物の配達日数について

現在、普通扱いの郵便物の配達日数は3～7日程度を要している模様です。そのため、期限に余裕を持ったご発送や、場合によっては速達、書留、レターパック等の利用もご検討ください。

また、通信教育部からの発送物（納入依頼書、受講許可証等）についても遅配が見られます。予定日を過ぎた場合はご一報ください。

3

8 / 9(水)～16(水)の夏期事務室対応について

電話対応休止日：8 / 9(水)・10(木)・14(月)・15(火)・16(水)

※8 / 11～13スクーリングの直前での欠席連絡はメールまたは8 / 11(金)午前9時以降に電話にてお願いします。

メールへの返信：8 / 9(水)～16(水)に頂戴したメールへの返信は8 / 17(木)以降になる場合があります。

証明書・学割の発行：8 / 9(水)～16(水)の到着分は8 / 17(木)以降の受付処理となる場合があります。

※お急ぎの場合は8 / 8(火)午前必着でお送りください。

4 オンデマンド・スクーリングの 開講日程につきまして

6月末にHPとメールにてお知らせしておりました通り、オンデマンド9・10期にて以下の科目が追加となっております。

- ・CE4173「保健医療と福祉」：オンデマンド9期に追加
- ・CC4099「福祉サービスの組織と経営」：オンデマンド10期に追加

また、すでにオンデマンド6～10期にて追加開講となった以下の科目につきまして、後期日程での開講期が決定しましたのでお知らせいたします。

- ・CB3063「福祉法学」、CE3090「権利擁護を支える法制度」：オンデマンド14期に追加
- ・CM3069「更生保護制度論」、CF3174「刑事司法と福祉」：オンデマンド15期に追加
- ・CC4099「福祉サービスの組織と経営」：オンデマンド17期に追加
- ・CE4173「保健医療と福祉」：オンデマンド18期に追加
- ・CD2172「児童・家庭福祉」：オンデマンド22期に追加

※お申込みはそれぞれの開講期が記載された『With』発行後に可能となります。

5 印刷物記載内容追加・訂正の ご案内とお詫び

3月発行の2023年度向け印刷物の誤植は下記のとおりです。『With』160号 p. 50、161号 p. 44～45と併せて訂正しご使用願います。大変申し訳ございません。

● 『レポート課題集 A- II 社福・精保指定科目編 2023』

ページ数	訂正事項	訂正内容
p. 25	福祉心理学の教科書名	(誤) 小松紘・木村進・渡部純夫・皆川州正編著『現代と未来をつなぐ見地からの心理学 (改訂版)』八千代出版、2019年 (正) 小松紘・木村進・渡部純夫・皆川州正編著『現代と未来をつなぐ実践的見地からの心理学 (改訂版)』八千代出版、2019年

6 発送物のご案内

- ・来年度学費納入依頼書 (10月生) 7 / 21 発送予定 (本冊子 p. 32 参照)
- ・履修状況票 (9 月末卒業登録者) 6 / 23 発送済み (本冊子 p. 56 参照)

7 履修登録に関するご案内

●10月生の方の履修登録 (ご注意・ご案内)

2024年3月までに学習 (スクーリング受講やレポート提出など) に取り組む予定のない科目は、『With』165号 (来年1月発行予定) でご案内する手数料無料の「追加履修登録」での履修登録をお勧めします (2024年4月から教科書が変更される可能性のある科目もあるため)。

8 レポート学習に関するご案内

●レポート添削の状況について

7/6現在、6/6午前中までに通信教育部に到着したレポートで未返却の科目は次のとおりです。添削終了までもう少々お待ちください。その他で未返却の科目がありましたら、通信教育部事務室にご連絡ください。「ボランティア論」「統計情報を見る眼」「医学概論」「医学一般」「人体の構造と機能及び疾病」「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ・Ⅱ・Ⅳ」「社会福祉援助技術演習B・C」「精神医学」「精神疾患とその治療Ⅰ・Ⅱ」「精神医学と精神医療Ⅰ」「精神保健福祉援助技術総論Ⅰ」「精神保健福祉援助演習B」「ソーシャルワーク演習（精神保健福祉士）」「精神保健福祉演習Ⅰ」「福祉ボランティア活動」「知的障害者福祉論」「心理学概論・B」「心理学実験ⅠB」「司法・犯罪心理学」「臨床心理学概論Ⅰ」

※一部演習・実習指導科目は、受講するスクーリング日時・担当教員が決まってから約1カ月程度添削指導に要します。ご了承ください。

●レポート受付締切日のご案内

レポート受付締切日を下記のとおりといたします。

(『試験・スクーリング情報ブック2023』p.10～17記載より一部変更あり)

※レポート受付締切日当日の午前までに事務室に到着したレポートをまとめ、翌日に担当教員へ添削依頼をいたします。

- ・2023年8月8日(火)・28日(月)
- ・2023年9月6日(水)・19日(火)
- ・2023年10月10日(火)・23日(月)
- ・2023年11月6日(月)・20日(月)

- ・ 2023年12月 5日(火)・ 19日(火)
- ・ 2024年 1月 15日(月)・ 29日(月)
- ・ 2024年 2月 13日(火)・ 26日(月)
- ・ 2024年 3月11日(月)2024年度レポート最終受付締切日

※最終受付締切日以降に事務室に到着したレポートは、2025年度分の依頼となります。

9 通信教育部からのご報告

●10月生募集中

10月生の出願を10/10消印まで受け付けています。お知り合いで関心のある方には『募集要項』をお送りしますので、どうぞご紹介ください。

●通信制大学院『募集要項』の配布

2024年度本学大学院募集要項は7月下旬から配布予定です。通信制大学院か通学課程大学院かを明示のうえお申込みください。

※臨床心理士や公認心理師の受験資格取得ができる大学院は通学課程のみです。

●2023年3月卒業者アンケートの集計結果につきまして

2023年3月にご卒業された方々にご協力いただきました「卒業者アンケート」と「学びの振り返りアンケート」につきまして、集計結果を公表いたしました。

集計結果は本学通信教育部の以下のページにてご確認くださいませ。

<https://www.tfu.ac.jp/tushin/voice/>

10 新潟会場について

スクーリングや科目修了試験の新潟会場「新潟医療福祉カレッジ」につきましては、受講者数等により1号館または2号館を借用させていただいております。

いずれの会場となるかは「スクーリング 受講許可証」または「科目修了試験 受験通知書」にてご案内いたしますので、毎回ご確認をお願いいたします。

※新潟医療福祉カレッジ1・2号館を併せた案内地図は『試験・スクーリング情報ブック2023』p.82をご参照ください。

11 仙台駅東口キャンパスのご案内

下記につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、臨時休業や特別対応となっております。

再開時期等は、各HPやツイッター等にてお知らせいたします。

(1) TFUギャラリー ミニモリのご案内（1・2階）

【問い合わせ・HP】022-766-8833(東口キャンパス総務課)

<https://www.tfu.ac.jp/minimori/>

(2) 学食「TFU Cafeteria Olive」のご案内（1階）

1) ランチ、ティータイム営業を行っています（月曜日定休）。

※学生証の提示で割引料金となります。

2) スクーリング受講時のお弁当の予約（味噌汁付550円）。

※前日15時までに申込フォーム（QRコードor下記）



よりご予約ください。

<https://forms.gle/3Q2Fhf5WjbibWjtL6>

【問い合わせ・HP】022-762-7827

<https://www.cafeteriaolive.com/>

(3) 生涯学習支援室から公開講座のご案内

【問い合わせ・HP】TEL：022-766-8834 FAX：022-766-8835

E-mail：life@tfu.ac.jp

<https://www.tfu.ac.jp/llc/>

(4) 芹沢銈介美術工芸館のご案内

最新情報はホームページをご確認ください。

【問い合わせ・HP】TEL：022-717-3318

<https://www.tfu.ac.jp/kogeikan/>

(5) 予防福祉健康増進推進室からのご案内 p.80参照

ソーシャルワーク演習 I			科目コード	CN4252
単位数	履修方法	配当年次	担当教員	
3	SR (講義)	3年以上	三浦 剛ほか	



科目の概要

■科目の内容

社会福祉士として求められる専門的資質、専門知識、専門技術の習得を図ることを目的とする。社会福祉士の専門知識、専門技術として求められる相談援助の一連の過程について、具体的事例（社会的排除、児童問題、高齢者問題、家庭内問題、低所得者、ホームレス等）を通してその内容を熟知する。また、地域づくりに関しての基本的知識・技術の習得を図ることに焦点をあて、社会資源の活用や開発、利用者理解・社会生活上の課題理解を深めていくことを目的とする。

- 1) ソーシャルワークの実践に必要な知識と技術の統合を行い、専門的援助技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を習得する。
- 2) 社会福祉士に求められるソーシャルワークの価値規範を理解し、倫理的な判断能力を養う。
- 3) 支援を必要とする人を中心とした分野横断的な総合的かつ包括的な支援について実践的に理解する。
- 4) 地域の特性や課題を把握し解決するための、地域アセスメントや評価等の仕組みを実践的に理解する。
- 5) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と展開過程、実践モデルとアプローチについて実践的に理解する。

■到達目標

社会福祉援助技術（相談援助）の具体的実践の習得に焦点をあて、利用者理解・社会生活上の課題理解を深められ、ロールプレイなどで実践できる。

■教科書（ソーシャルワーク演習Ⅱと共通）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟編『最新 社会福祉士養成講座 [専門科目] 7 ソーシャルワーク演習 (社会専門)』中央法規出版、2021年
(スクーリング時の教科書) 上記教科書は必ず持参してください。

■履修登録条件

この科目は「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワーク演習」をすでに履修登録済みか、同時に履修登録する方のみが履修登録できます。

※実習を受講予定の方は「ソーシャルワーク実習指導Ⅰ」「ソーシャルワーク実習Ⅰ」を同時に履修登録してください。

■「卒業までに身につけてほしい力」との関連

とくに「専門的知識」「他者への関心と理解」「社会への関心と理解」「自己尊重的コミュニケーション力」「他者配慮表現力」「自己コントロール力」「アセスメント力」を身につけてほしい。

■科目評価基準

レポート評価40% + スクーリング評価60%

■参考図書

- 1) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 [共通科目] 12 ソーシャルワークの理論と方法 (共通科目)』中央法規出版、2021年
- 2) 日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 [共通科目] 11 ソーシャルワークの基盤と専門職 (共通・社会専門)』中央法規出版、2021年

スクーリング

■スクーリング受講申込み上の注意

- 1) この科目は、スクーリングの受講が必須となります。
- 2) 1クラス20人以内の少人数で開講します。
- 3) 受講料は10,000円となります。
- 4) 受講許可証・納入依頼書は、各受講判定日(申込締切日)以降に発送します。
- 5) スクーリング開講日・申込締切日は、『試験・スクーリング情報ブック』または『With』を参照ください。
- 6) 申込方法は、『With』でご案内します。
- 7) クラス分けは無作為に行いますので、教員の指定はできません。
- 8) 申込締切後の受講日・受講地の変更は受け付けません。必ずしも第一希望での受講ができない場合があります。ご了承ください。
- 9) 公共交通機関の延着を除き、遅刻・欠席は認められません。また、スクーリング終了時間前の退席も認められません。

■スクーリング受講条件

受講判定日(=スクーリング申込締切日)までに

- 1) 「ソーシャルワークの基盤と専門職」の2単位めレポート提出
- 2) 「ソーシャルワーク演習」の2単位めレポート提出
- 3) 「ソーシャルワーク演習Ⅰ」の1単位めレポート提出
- 4) 「ソーシャルワーク演習」スクーリング試験の合格
- 5) (入学後1年以上経過した方は) 認定単位を除き20単位以上の修得

※各提出期日は『試験・スクーリング情報ブック』または『With』を参照。

※各受講条件は『学習の手引き』3章「資格取得のための履修方法」2節「社会福祉士国家試験受験資格」「5 演習・実習科目 受講の流れ」「6 演習・実習指導・実習の受講条件」から確認してください（受講条件は、見直しにより変更となる場合があります）。

■講義内容

回数	テーマ	内 容
1	ソーシャルワークの実際を理解する①（虐待、ひきこもり）	支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対しての支援について、事例を用いて理解する。事例研究の発表を行い、グループディスカッションを行う。
2	ソーシャルワークの実際を理解する②（貧困、認知症）	支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対しての支援について、事例を用いて理解する。事例研究の発表を行い、グループディスカッションを行う。
3	ソーシャルワークの実際を理解する③	これまでの事例をふまえ、ソーシャルワークの価値、倫理的な判断をテーマとしたピアスーパービジョン（グループスーパービジョン）を行う。
4	ソーシャルワークの実際を理解する④（終末期ケア、災害時支援）	支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対しての支援について、事例を用いて理解する。事例研究の発表を行い、グループディスカッションを行う。
5	ソーシャルワークの実際を理解する⑤（虐待、権利擁護、アドボカシー）	支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対しての支援について、事例を用いて理解する。事例研究の発表を行い、グループディスカッションを行う。
6	ソーシャルワークの実際を理解する⑥（地域の基盤整備と開発）	支援を必要とする人が抱える複合的な課題に対しての支援について、事例を用いて理解する。事例研究の発表を行い、グループディスカッションを行う。
7	ソーシャルワークの実際を理解する⑦	1～6回で学習した事例を振り返り、ソーシャルワークにおける総合的包括的支援についてディスカッションし、発表する。

回数	テーマ	内 容
8	ソーシャルワークの実際を理解する⑧	これまでの事例をふまえ、ソーシャルワークの価値、倫理的な判断をテーマとしたピアスーパービジョン（グループスーパービジョン）を行う。
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

教科書や配布資料の事例などを用いて演習を進めます。

なお、演習のスクーリングでは「参加」の姿勢が大切です。

■スクーリング 評価基準

スクーリングの最後に試験をおこないます。「技術」がどの程度身についたかを直接テストすることはできませんが、このスクーリングを通して、どの程度ソーシャルワークの価値・倫理、知識、技術が、具体的に理解できたかを問います。スクーリング中に学んだ内容から出題します。スクーリング中はこれまで学修した内容を具体的に理解するように努めてください。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

「ソーシャルワークの基盤と専門職」、「ソーシャルワークの理論と方法」など、ソーシャルワークについてのこれまでの復習を必ずしてください。

レポート学習

■在宅学習15のポイント

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
1	ソーシャルワークの価値・規範(1)	ソーシャルワークの価値、倫理について	ソーシャルワークの新定義、社会正義の実現、多様性の尊重などの5つの価値などをふりかえる
2	ソーシャルワークの価値・規範(2)	ソーシャルワーカー（社会福祉士等）としての倫理、行動規範について	職能団体の倫理綱領、行動規範などを参考にする
3	ソーシャルワークの価値・規範(3)	倫理的ジレンマの解決など、価値規範にかかわるソーシャルワークの実際について	当該箇所の事例などを用いて学習する

回数	テーマ	学習内容	学びのポイント
4	ソーシャルワークの知識と技術(1)	ソーシャルワークの知識と技術について	教科書等で確認し、体系的理解と概念化を目指す
5	ソーシャルワークの知識と技術(2)	ソーシャルワークの過程について	教科書等で確認し、具体的理解を目指す
6	ソーシャルワークの知識と技術(3)	実践について	ソーシャルワーク体系を意識し、実践事例を探し、あてはめる
7	ソーシャルワークを利用する人、状況の理解(1)	社会的排除による重層的な問題について	8050 問題、ゴミ屋敷問題、引きこもりなど関係性からの排除によって起こる今日的な社会課題について、その発生のメカニズムなどを調べる
8	ソーシャルワークを利用する人、状況の理解(2)	現代的な課題解決の方法について	総合的、包括的な支援とは何か、調べる
9	ソーシャルワークを利用する人、状況の理解(3)	そのためのソーシャルワーク実践について	実際の実践事例などを探してみる
10	地域課題の把握と解決の方法(1)	地域の特性や課題の理解について	現代的な地域課題について、文献などから学ぶ
11	地域課題の把握と解決の方法(2)	地域特性や課題の把握の方法について	地域アセスメントの方法などについて、具体的に調べる
12	地域課題の把握と解決の方法(3)	地域課題解決の方法について	実際の実践事例などを探し、検討する
13	ミクロからマクロ・レベルまでのソーシャルワークの連続性(1)	ミクロからマクロ・レベルまでのソーシャルワークの連続性について	それぞれのレベルの意味を知り、課題がどのように発生するか調べる
14	ミクロからマクロ・レベルまでのソーシャルワークの連続性(2)	ミクロからマクロ・レベルまでのソーシャルワークの展開過程について	実際の実践事例を調べ、検討する。
15	ミクロからマクロ・レベルまでのソーシャルワークの連続性(3)	ミクロからマクロ・レベルまでのソーシャルワークの実践について	このモデルやアプローチを調べる

■レポート課題

1 単位め	社会問題、社会福祉的課題とされている事例を選び（ご自身がかかわったこと、新聞や文献などから得たこと、これまで受けた講義、演習などから）、ソーシャルワークの価値、展開過程をあてはめて説明し、あなたの見解を述べてください。 *事例とは特定の個人、家族、地域などのことではなく、そこで展開されたソーシャルワークのことをいう。
2 単位め	地域でのネットワーク形成など社会資源開発、地域づくりを目的としたソーシャルワークの展開過程（プロセス）をまとめ、アウトリーチとニーズ把握の視点、多職種・多機関連携の要点についても触れてください。
3 単位め	複合的、重層的な課題を抱える人への包括的支援について、その特徴と支援に携わるソーシャルワーカーに求められる専門性についてまとめてください。

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

1 単位め アドバイス

事例とは特定の個人、家族、地域などのことではなく、そこで展開されたソーシャルワークのことをいいます。ソーシャルワークの展開過程をしっかりと意識して、自分のことばで、文章構成を明確に述べましょう。使用した事例などの出所を明示してください。

2 単位め アドバイス

社会資源開発、アウトリーチ、多職種・多機関連携などの用語の定義を確認してください。その上で適切な事例を選び、その過程を「要点」にもふれながらまとめましょう。過程ごとにまとめるなど、文章構成を明確に、具体的理解ができていることが伝わるようにまとめましょう。

3 単位め アドバイス

人と人、人と制度などの「関係性」が切られた状態が、8050 問題、引きこもり、ゴミ屋敷、虐待、ワーキングプアなどの問題を引き起こす、社会的排除の状態です。近年のソーシャルワークの目的は、その排除の解決、いいかえれば「社会的包摂」の実現を目指すことです。

ソーシャルワークでは「重層的、包括的」にこれらの問題に対応しようとしませんが、その具体的方法、過程、それを行うための組織運営などについて、具体的イメージができるように事例なども参考にまとめましょう。

引用、参考共に文献は本文中に明示し、巻末リストと対応させましょう。

■レポートの提出方法

- 1) 1 単位につき、1 冊のレポート提出台紙を使用してください。

- 2) 1単位のレポート文字数は2,000字程度ですが、最長4,000字程度まで記入していただいても結構です。
 ※パソコン印字の場合は、左右40字×30行×2～4枚まで可。
- 3) 教員名の欄には記入しないでください。
- 4) 各レポートは、所定の提出締切日までに提出してください。
 ※『試験・スクーリング情報ブック』 または申込時の『With』参照。

実習選考試験

■実習選考試験

- 1) 実習受講希望者を対象に、スクーリング1日目の講義終了後に実習選考試験を実施します。

スクーリング1日目・講義終了後	実習選考試験
スクーリング2日目・最終コマ	スクーリング試験

- 2) 実習選考試験またはスクーリング試験が不合格となった場合、当年度の「ソーシャルワーク実習Ⅰ」の申込は無効となります。
- 3) 実習免除者は実習選考試験の対象外となり、スクーリング試験のみ受講します。

